

蔵王山では山行報告にならないので、昔の思い出を交えて報告させて頂く。

蔵王と言えばスキーのメッカ。就職して間もない頃、樹氷の合間を滑り降りるスキーヤーのポスター写真にあこがれて、関西からはるばるやってきた。建国記念日を利用し有給休暇をくっ付けると5連休ぐらいになる。仕事を終わると急ぎ夕刻発の東海道新幹線で東京へ。その頃はまだ東北新幹線は開通しておらず、上野からは青森行きの夜行急行の座席車だった。行った先は山形蔵王ではなく、宮城蔵王。それでも蔵王は蔵王、のはずであったが、とんでもないことに雨に降られてしまった。雨に濡れたバタバタの雪ではスキーにはならず、スキーの方は早々に切り上げ、宿の方も途中キャンセルした。私もまだ独身の身であったこともあり、同行していた仙台出身の後輩の実家に泊まらせてもらいながら、観光に切り替えて休日を過ごしたことがあった。

それから20年程が経ち、転勤で栃木県の宇都宮に住んでいた時に、家族を連れて2度程山形蔵王に来たことがある。移動手段はもちろん自家用車。この時の雪質は抜群、下手なりにおおいにスキーを楽しめた。

さらに20年程が経ち、今度はスキーではなく一応山登りで蔵王へ。飛行機で仙台入りし、レンタカーで現地移動。交通手段も大きく変わったなど感じる。

本来の目的は大朝日岳山行であるが、移動途中の余裕時間で蔵王山に登ることに。登山ルートは蔵王エコーライン側の蔵王山頂バス停から馬の背を通り熊野岳へ。スニーカーのままで登ろうとしたが、同行の経験者から「どちらかと言うと登山靴の方が良いよ」という勧めで、登山靴に履き替える。結局は登山靴で正解であった。

バス停から100mも歩けばお釜を覗ける。そしてまずは刈田岳へ。ほんの10分と掛からずに山頂へ。景色的にはお釜と熊野岳の対比が抜群。

熊野岳のお釜側は勿論噴火口の崖になっているが、山全体がなだらかな丘陵のハゲ山になっていて、お釜の引き立て役でしかなく、山としての魅力はまったく感じられない。刈田岳から熊野岳までは45分程。山頂はただっ広く、祠と火山用の避難小屋がある。山頂からは山形蔵王スキー場のロープウェイの終端駅が見え、昔のことを回想しながらの山登りであった。

◆メンバー：K、Shiba、他1人

◆コース：蔵王山頂バス停 12:30～刈田岳～熊野岳 13:35～蔵王山頂バス停 14:15

◆所要時間／歩行時間：1時間45分／1時間25分



刈田岳から見る熊野岳とお釜



お釜ビューポイント付近からの眺め